

るが自慢です。

芝生を活かした地域の新しい伝統を生み出すために

日野市立滝合小学校



福島 貴美江 校長先生

芝生化して良かったこと、変わったことは

まず、ケガが少なくなりました。それから、走力ですね。芝生の上を走っている今の子供たちと以前の子供たちを比べると、走力は確実にアップしたように思います。芝生は土と比べると走りにくいんですが、そこで普段身体を動かしているの、普通のグラウンドでタイムを計測すると50mの記録が全体的に良くなっています。体力向上にはとても役立っていると思います。

地域全体で考えると、芝生管理委員会の方をはじめとして、スポーツ団体の方、保護者、地域の育成会の人たち、それぞれが本校に集まってきて整備をしてくれます。そこで学校を通した様々な人たちの交流が生まれています。このような場は、校庭を芝生化しなければ生まれなかったかもしれませんね。



芝生化にまつわるエピソードはありますか

以前は、小正月の「どんど焼き」という行事が伝統的に校庭で行われていて地域の方が大勢参加されていました。この地域には子供たちが楽しめるお祭りが少なく PTA の方々が何か子供たちに残せるものをということで「どんど焼き」を始め、それがずっと続いてきたんですね。ところが、校庭を芝生化することでこの「どんど焼き」ができなくなってしまいました。それで、今年はそれに代わる行事としてたこ揚げ大会を企画しています。「どんど焼き」のメンバーの方が芝生化の大きな力になっていただいただけに複雑な思いもありますが、このような企画も芝生があるからできることなので、地域の方が芝生を通して学校とつながりを持ち続け、地域の新しい伝統行事になればと思っています。



「我が校の自慢」を教えてください

芝生化には沢山のメリットがありますが、何よりもこの緑に癒されるというのが大きいと感じています。本校は周りに山があり、近くに川が流れていて自然には恵まれています。もう一つこの校庭の芝生の緑が加わったことで、より緑あふれた学校になったと思います。

芝生化して6年経ちましたが生育の悪い年は「芝生再生プロジェクト」として苗の補植を行ったりしました。今年はかなり良い状態です。子供たちは普段から芝生の上を転げ回っていますので芝生は大好きです。大切にしたい思いは教職員や保護者の方も同じです。地域の方を含め、様々な人が同じ思いを持っていることは自慢と言ってよいかもしれませんね。



児童数：417名（平成29年5月1日現在）
芝生化面積：3,942m²
芝生が完成した時期：平成22年度

